

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称： アスク南林間保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：杉本 昌宏	定員（利用人数）： 60(73)名
所在地：〒242-0003 大和市林間1-3-27	
TEL：046-278-1615	ホームページ： <a href="https://www.nihonhoiku.co.jp/blog/minamirinkan/">https://www.nihonhoiku.co.jp/blog/minamirinkan/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2013年 7月 1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 日本保育サービス	
職員数	常勤職員：15名 非常勤職員： 2名
専門職員	保育士 12名 栄養士 1名 調理員 3名
施設・ 設備の 概要	乳児室（0～2歳児室） 3室 職員休憩室（更衣室） 1室
	幼児室（3～5歳児室） 3室 地域子育て支援室 1室
	沐浴室 1室 相談室 1室
	調理室 1室
	トイレ 4室 鉄骨造り 2階建て 540.21㎡
	事務室 1室 園庭 66㎡

③ 理念・基本方針

【保育理念】 あす 未来を生きる力を培う
【保育方針】又は【基本方針】 <ul style="list-style-type: none"><li>・自ら伸びようとする力を支えます</li><li>・五感を養って感性を豊かにします</li><li>・後伸びする力を育みます</li></ul>
【コーポレートメッセージ】 「すべては子どもたちの笑顔のために」

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】 アスク南林間保育園は、2013年7月1日に開園し、現在0～5歳児が73名（定員60名）在籍しています。小田急江ノ島線南林間駅より徒歩5分の住宅街の中にあり、利便性の良い立地です。園舎は日当たりの良い二階建ての建物で、1階と屋上に園庭があります。
【園の特徴】 <ul style="list-style-type: none"><li>・株式会社日本保育サービスが運営法人で、大和市を含むエリア園5園が連携して子育て情報を共有しています。駅に近い立地ですが、園の周辺には大小の公園があり、</li></ul>

天気の良い日には散歩に出かけています。園内には日当たりの良い1階園庭や屋上園庭があり、のびのびと遊んでいます。

- ・子どもがさまざまな経験ができるよう、栄養士による食育指導やクッキングプログラム、外部講師による様々なプログラムを実施しています。
- ・保護者支援として、園でのオムツ処理、希望者へのサブスクリプションの導入、寝具（午睡マット）やエプロン、食事用口拭きや哺乳瓶を園で用意しています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年 8月 1日（契約日） ～ 2024年 2月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2016年度）

⑥ 総評

◇特長

1. 食を通して子どもを育てる食育活動

5歳児は「やさいはかせになろう」をテーマに、画用紙にピーマンやトマトの絵を描き、旬や栄養を図鑑で調べて説明を添えてミニ図鑑を作成し、玄関や外の掲示板に掲示しました。栄養士による3色表を用いた食材クイズやクッキング指導により、食への関心を高めています。クッキングで調理した「白和え」を食べた子どもは「いつもよりおいしい」と笑顔が見られます。家庭でも「今日は〇色が足りないね」「今日の献立はバランスがいいね」とコメントする子どももいます。

献立には毎月の行事食のほかに、郷土料理の日があり、全国各地の郷土食を紹介しています。地図を用いて郷土料理が食されている地方を紹介し、食への関心を高めています。保護者の要望から、献立の食材の産地を明確にしています。

2. 子どもと職員が楽しめる保育への取組

園目標「えがおで、たのしく、のびのびと」に則り、園は「職員と子どもが楽しんで取り組める保育活動」を目指しています。園長は積極的に保育活動に参加し、目指す姿を職員に見せています。

職員も自主的にシフト調整に協力し、隙間時間を活用して書類作成や作業を代わって実務を補完するなど、チームワークを発揮して残業の抑制に取り組んでいます。また、ワークライフ・バランスを推進し、職員が余裕をもって子どもたちに接することで、園目標の達成を目指しています。

3. 災害時の防災対策の工夫

園単独での避難訓練に加え、年1回引取り訓練日を決めて消防署と一緒に訓練しています。消防署からは「姿勢を低くして逃げるんだよ」等の指導を受けながら避難訓練を行なっています。その後、どのように引き取ってもらうかも合わせて訓練します。この日のおやつは乾パン、お昼のお米はアルファ米にするなど災害時を想定して総合的な訓練を行なっています。

また、「防災ぐつ」を園が用意しています。サイズが2種類で左右フリーのため履くのが便利で、厚底になっているためガラス等危険な障害物への安全対策にも役立ちます。

◇今後期待される点

1. 園が目指すべき姿を実現するための事業計画の策定

園が目指すべき姿を実現するためには、中・長期計画とそれを実現するための単年

度の事業計画を策定することが望まれます。現在の中・長期計画や単年度の実業計画は、実施状況の評価が十分にできるものになっていません。成果を評価できる数値目標を含んだ事業計画を策定し、組織的に実施状況の評価をして、一貫したビジョンをもって職員全員で計画的に取り組んでいくことが期待されます。

## 2. 園の取組についての保護者への周知

プライバシー保護について、マニュアル等に具体的な保育方法として明示し、職員で共有した上で、子どもや保護者にも分かりやすく説明することが望まれます。また、配慮を要する子どもへの理解や子ども同士の関わりへの園の取組についても、保護者へ説明する機会を持つことが期待されます。

## 3. 職員が希望する研修に参加できる機会を

法人研修は実施されていますが、外部研修には参加できていません。非常勤職員を含む職員一人ひとりが、希望する研修に参加できるよう配慮し、研修資料を閲覧できるようにすることが期待されます。

### ⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

アスク南林間保育園は、「えがおで、たのしく、のびのびと」を園目標に日々保育を行っております。

9月より体制が変わりより良い環境作りや個々に合わせた援助の在り方や環境作りを実現していくための一環として、更なる保育の向上を目指し今回の第三者評価を受けました。準備の段階から、様々な分野・視点から客観的に保育や環境を見つめ直し、自己評価することの大切さを感じました。そしてご意見いただいたことで新たな気づきがあり、改善点も明確になりました。

また、これまで取り組んできたことに上乗せをしていながら、自信を持って更なる向上を目指していきたいと職員一同気持ちを新たにしております。

引き続き当園の保育を築いていながら子どもたちが様々な体験や経験を通して、園目標である「えがおで、たのしく、のびのびと」過ごせる園でありたいと思っております。

この度、お忙しい中、アンケートにご協力いただいた保護者の皆様に感謝申し上げます。

### ⑧ 第三者評価結果

.別紙2のとおり